

レジメン名

XELOX+Trastuzumab

出典 エルプラット適正使用ガイド
ゼローダ適正使用ガイド
Euro J Cancer (2015) 51,482-488

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患

HER2過剰発現の胃癌

進行・再発
 補助療法(術前・術後)

投与減量の基準

WBC	2000/mm ³ 未満	PLT	50000/mm ³ 未満
その他	上記の時の減量の目安 L-OHP: 130mg/m ² →100mg/m ² →85mg/m ² Capecitabine: 2000mg/m ² →1600mg/m ² →1280mg/m ² CLcrが30-50mL/minの患者ではCapecitabineを25%減量		

1クール期間 21日
(次のクールまでの標準期間)

総クール数 PDまで

投与中止の基準

WBC	3000/mm ³ 未満	PLT	75000/mm ³ 未満
CLcr	30mL/min未満		
その他	神経毒性、アレルギーに注意		

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
トラスツマブ	初回8mg/kg 2回目を以降 6mg/kg	NS250mL	90分*	day1
オキサリプラチン(エルプラット)	130mg/m ²	5%TZ500mL	2時間	day1
カペシタビン	2000mg/m ² **	朝、夕食後		day1タ-15朝
* 初回90分で忍容性が良好であれば2回目を以降は30分まで投与時間の短縮可能				
※体表面積ごと投与量を決める 1.36m ² 未満: 1200mg/回 × 1日2回 1.36m ² 以上~1.66m ² 未満: 1500mg/回 × 1日2回 1.66m ² 以上~1.96m ² 未満: 1800mg/回 × 1日2回 1.96m ² 以上: 2100mg/回 × 1日2回				

1日投与順 (経時的にプレメドケーション・ポストメドケーション、 溶解液まで含む)
day1 ①生食50mL (ルート確保用) ②トラスツマブ+生食250mL(90分*) (2回目を以降30分まで短縮可) ③アロキシ0.75mg/バッグ+デキササート6.6mg (15分) ④エルプラット130mg/m ² +5%糖液500mL (2時間) ⑤生食50mL(フラッシュ用) day1タ-15朝 カペシタビン錠 2000mg/m ² 分2で服用